

(様式第1号)

平成30年10月26日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 認定介護福祉士養成研修導入

科 目 名 : 認定介護福祉士概論

単 位 数 : 1単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士概論

団体名 : 一般社団法人沖縄県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1

沖縄県総合福祉センター内 (西棟4F)

電話 : 098-887-3344

FAX : 098-887-3391

E-mail : okikaigo@gmail.com

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 羽鳥 訓秀 ㊟

申請責任者 : 福井 彰雄

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙1~3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 30 年 10 月 26 日
申請団体名	一般社団法人沖縄県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	羽鳥 訓秀
申請責任者職名	理事
申請責任者氏名	福井 彰雄
団体住所	〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1 沖縄県総合福祉センター内 (西棟 4 F)
同 Tel・Fax	Tel : (098)-(887)-(3344)
メールアドレス	Fax : (098)-(887)-(3391) E-mail <u>okikaigo@gmail.com</u>
申請対象の領域	領域名 : 認定介護福祉士養成研修導入
科目名 (単位数)	科目名 : 認定介護福祉士概論 (認定介護福祉士の役割と実践力) (1 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士概論 (認定介護福祉士の役割と実践力)
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 沖縄県認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	認定介護福祉士養成研修導入	
科目名	認定介護福祉士概論（認定介護福祉士の役割と実践力）	
(1)提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
研修目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の導入として、認定介護福祉士に求められる役割、本研修で獲得すべき知識、実践力と、本研修全体の組み立てについて理解させる。 ・介護現場の様々な問題がなぜ起きるのかについて、介護観・支援目標の共有化など、チーム運営の視点で把握するとともに、自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を理解させる。 ・自ら考える力・自ら学ぶ力の重要性を改めて確認させる 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認定介護福祉士養成研修の体系を理解し、学習計画を立てる。 ・認定介護福祉士に求められる役割と実践力について説明できる。 ・介護現場でおきる問題について、チーム運営の視点で分析できる。 ・自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を説明できる。 ・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚する。 	
研修内容 (研修プログラム)	含むべき内容	研修プログラム
	<p>1.認定介護福祉士の社会的使命と介護福祉の専門性</p> <p>1)認定介護福祉士研修全体の流の理解</p> <p>2)介護をめぐる社会的動向（地域包括ケアシステムと医療・介護連携等）と介護福祉士の役割の変化</p> <p>3)認定介護福祉士に求められる役割と実践力（根拠ある生活支援、介護職のチーム運営・マネジメント、職種間連携、地域連携）</p> <p>4)介護福祉の専門性への考察</p> <p>2.介護現場における様々な問題とその要因</p> <p>1)職種間または組織間に起こりやすい問題</p> <p>2)利用者への関わり方や介護観の相違により起きる問題</p> <p>3.チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ</p> <p>1)チームを構成する職種間連携・各職種の役割・機能の理解</p> <p>2)チームケア・チームアプローチとは何か</p> <p>3)チームにおける介護福祉観・支援目標の共有化</p> <p>4)チーム内・職種間の調整</p> <p>5)チームメンバーとのコミュニケーション</p>	<p>1.事前課題 no1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に送られる認定介護福祉士説明資料を読み、認定介護福祉士養成研修の体系や認定介護福祉士養成研修が創設された経緯等について学習すること。（認定介護福祉士のイメージを作成、A4用紙1枚（1200字）程度でまとめ持参する。研修資料として使用する。 <p>2.事前課題 no2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の属する介護職チームの状況、及びそこにおいて生じた組織的課題と、その課題を解決した事例についてA4用紙1枚（1200字）程度でまとめ持参する。研修資料として使用する。 （現在、介護職チームに属していない者は、以前のチーム、または身近なチームについてまとめること） <p>3.認定介護福祉士の社会的使命と介護福祉の専門性（講義4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の介護職集団と介護職チームの形成過程を理解する。＜1.1)対応＞ ・介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割を理解する。（地域包括ケアシステム、医療・介護連携の理解と介護福祉士の役割等）＜1.2)対応＞ ・「日常生活を営むことへの支援」の際、介護職が担う職能集団としての役割と機能、支援の意味について考える。＜介護福祉の専門性についての考察＞ ・認定介護福祉士創設の経緯について、関係する制度や検討会報告書等を用いて学ぶ。＜1.2)対応＞ ・地域包括ケアシステムにおける認定介護福祉士が担うべき役割を学び、その役割を担うために必要となる実践力（尊厳を支えるケア、自立支援の視点に基づく介護、介護の専門性等）について学ぶ。＜1.2)対応＞ ・自職場やその地域において、認定介護福祉士とし

	<p>での自分が担う役割について考える。〈1.2)対応〉</p> <p>4.介護現場における介護職チームの運営に関わる様々な問題とその要因（講義・演習4時間）</p> <p>〈事前課題 no2 をグループ内で共有する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職種間・組織に起こる課題とその要因を整理する。 ・受講者が介護福祉士として、とるべき行動について考察する。〈2.1) 2)対応〉 ・課題が解決できた事例を通して、介護職チームの運営に何が必要なのかを理解する。〈2.1) 2)対応〉 <p>5.チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ（講義・演習7時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチの手法、チーム内における価値観や専門的知識の共有手法を学ぶ。〈3.1) 2) 5)対応〉 ・チームリーダーとして、介護職チームの運営、職種間連携の考え方を学ぶ。〈3.3) 4)対応〉 ・チーム内・職種間の調整能力、コンフリクトの解決方法等について学ぶ。〈3.4) 5)対応〉 ・講師の提示した介護職チーム事例を基に、チーム内のリーダーとしての態度、他職種との連携の在り方や、認定介護福祉士に必要なコミュニケーション能力について議論し、全員で共有する。〈3.1)2)3)4)5)対応〉
研修方法	<p>■通学課程（集合研修だけで実施）</p> <hr/> <p>○事前課題は集合研修の資料作成のために実施する</p> <p>○集合研修は、講義と演習を組み合わせて行う。</p>
研修時間	15 時間（全て集合研修で 15 時間実施、1 時間を試験に充てる予定）
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 30 分）を上限として認める（この場合はレポート課題なし）。また 1 日のプログラムのうち、始めの 30 分を超える遅刻、終わりの 60 分を超える早退である場合、事前・事後課題とは別にレポート課題による代替を可能とする。それ以外の遅刻、早退の場合は、講義を録画しているビデオ学習による補講を行う。</p> <p>○事前・事後課題は A～D の 4 段階評価とし、D 評価の場合は 1 度のみ再提出を認める。なお、事前・事後課題の提出が指定の期限内に行われない場合、修了を認めない。</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件 （講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験のある者
(2)受講者について	
受講対象 （受講要件）	<p>(1)次のア～ウのいずれをも満たしていること。</p> <p>ア 介護福祉士資格取得後の実務経験 5 年以上（実務経験の考え方は介護福祉士国家試験の受験資格に準ずる）</p> <p>イ 介護職員を対象とした現任研修の受講歴として、100 時間以上の履歴を有していること。</p> <p>ウ 当会の課すレポート課題又は受講試験において一定水準の成績を修めていること。ただし、認定介護福祉士認証・認定機構の定める研修を修了している場合は免除する。</p> <p>(2)次のエ又はオを満たすことが望ましいこと。</p> <p>エ 介護職の小チーム（ユニット等、5～10 名の介護職によるサービス提供チーム）のリーダー（ユニットリーダー、サービス提供責任者等）としての実務経験を有すること。</p> <p>オ 居宅、居住（施設）系サービス双方での生活支援の経験があること。</p>
修了評価	修了評価は以下により行う。（①～④の全てを満たすこと）

	<p>①出席状況が修了要件を満たしていること。（全課程の出席。ただしやむを得ない事情による30分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。）</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。（合格、不合格で判定）</p> <p>③事後課題「事前課題及び講義・演習の内容を踏まえ、認定介護福祉士としての自分の役割を十分に考えたうえで、①自職場において介護職チームが抱える課題にどのように取り組むか、②地域において認定介護福祉士としてどのような活動を行うべきかについて、それぞれ1200字程度でまとめる。」を提出していること。</p> <p>④事前・事後課題の全ての評価がA～Cであること。D評価の場合は1度のみ再提出を認め、C以上の評価を得なければならない。</p> <p>※D評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30名（講義・演習講師1名）
開催場所（都道府県）	沖縄県総合福祉センター

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1)研修の実施予定	
実施日	① 平成31年3月1日(金)
	② 平成31年3月2日(土)
	③
開催場所(会場)	① 沖縄県総合福祉センター
	② 沖縄県総合福祉センター
	③
(2)講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 認定介護福祉士概論
	保有資格：介護福祉士、
	本名 靖 氏 東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授
(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修担当職員(2名)その他本会事務職員2名、合計本会事務職員4名(全員非常勤職員)で事務局を運営している。事務職員4名全員介護福祉士国家資格および簿記資格を有している(うち3名は日商簿記検定2級資格あり)。 平成26年度ファーストステップ研修の実施を機会に、これまでに毎月講師打ち合わせ会議(勉強会も含む)を実施し、講師間で研修内容を情報共有してきた。議事録で協議された内容を踏まえて本会で開催する研修会等の振り返りを行い、常に講師の質の向上に取り組んできた。今回の認定介護福祉士養成研修の申請にあたり、平成30年1月20日本会理事会での承認を経て、これまでの「講師打ち合わせ会議」を「研修委員会」として改編した。 なお定款・規程等において法律的な疑問が生じた時には、本会監事(司法書士・行政書士)より助言を受けている。
研修の企画運営に関する諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	理事
研修管理責任者氏名	福井 彰雄
機構問合先部署	一般社団法人沖縄県介護福祉士会
機構問合先担当者氏名	福井 彰雄
機構問合先電話番号/FAX	電話 098-887-3344 FAX 098-887-3391
機構問合先 e-mail アドレス	okikaigo@gmail.com
受講問合先部署	一般社団法人沖縄県介護福祉士会
受講問合先担当者氏名	横山 圭子
受講問合先電話番号/FAX	電話 098-887-3344 FAX 098-887-3391
受講問合先 e-mail アドレス	okikaigo@gmail.com
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	沖縄県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	本会個人情報保護方針及び個人情報保護規程を踏まえて、以下の管理方法により個人情報を管理する。 ○紙媒体及びデータにより台帳を管理する。 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。

	<p>○個人情報の取り扱いにあたっては関連する法律を遵守する。 なお平成 26 年度より個人情報等にかかる訴訟に備えて、弁護士と顧問契約を締結している。</p> <p>また平成 28 年度より web サイトおよびメールでの個人情報の漏洩等の防止に備えて、専門の SE（システムエンジニア）と委託契約を交わしている。</p>
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	福井 彰雄
管理担当者氏名	横山 圭子

2019.03.01-02 認定介護福祉士 I 類研修 (沖縄県介護福祉士会)

領域名：「認定介護福祉士養成研修導入」 科目名：認定介護福祉士概論

研修目標

- ・研修全体の導入として、認定介護福祉士に求められる役割、本研修で獲得すべき知識、実践力と、本研修全体の組み立てについて理解させる。
- ・介護現場の様々な問題がなぜ起きるのかについて、介護福祉観・支援目標の共有化など、チーム運営の視点で把握するとともに、自立を支援するために根拠に基づいた介護福祉を实践することの必要性を理解させる。
- ・自ら考える力・自ら学ぶ力の重要性を改めて確認させる。

到達目標

- ・認定介護福祉士養成研修の体系を理解し、学習計画を立てることができる。
- ・認定介護福祉士に求められる役割と実践力について説明できる。
- ・介護福祉現場でおきる問題について、チーム運営の視点で分析し、解決に向けたチームの運営ができる。
- ・自立を支援するために根拠に基づいた介護福祉を实践する必要性を説明できる。
- ・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚する。

含むべき内容

1. 認定介護福祉士の社会的使命と介護福祉の専門性、認定介護福祉士養成研修体系を理解し、学習計画を立てることが出来る。
1) 認定介護福祉士研修全体の理解、2) 介護福祉をめぐる社会的動向 (地域包括ケアシステムと医療・介護連携等) と介護福祉士の役割の変化、3) 認定介護福祉士に求められる役割と実践力 (根拠ある生活支援、介護職のチーム運営・マネジメント、職種間連携、地域連携)、4) 介護福祉士・認定介護福祉士の専門性の理解
2. 介護現場における様々な問題とその要因
1) 職種間または組織間起こりやすい問題、2) 利用者への関わり方や介護福祉観の相違により起きる問題
3. チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ
1) チームを構成する職種間連携・各職種の役割・機能の理解、2) チームケア・チームアプローチとは何か、3) チームにおける介護福祉観・支援目標の共有化、4) チーム内・職種間の調整、5) チームメンバーとのコミュニケーション

2. 修了時の評価ポイント (評価内容・基準)

○修了評価は以下により行う。(①～④の全てを満たすこと)

①出席状況が修了要件を満たしていること。(全課程の出席。ただしやむを得ない事情による 30 分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。)、②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。(合格、不合格で判定)、③事後課題「事前課題及び講義・演習の内容を踏まえ、認定介護福祉士としての自分の役割を十分に考えたうえで、①自職場において介護職チームが抱える課題にどのように取り組むか、②地域において認定介護福祉士としてどのような活動を行うべきかについて、それぞれ 1200 字程度でまとめる。」を提出していること。④事前・事後課題の全ての評価が A～C であること。D 評価の場合は 1 度のみ再提出を認め、C 以上の評価を得なければならない。

A : 85-100 B : 70-84 C : 60-69 D : 59 以下 (※D 評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。)

～認定介護福祉士概論～

時間	テーマ(展開)・大項目	講義・解説のポイント(中項目)、演習等の展開内容(含むべき内容)	使用教材、指導上の留意事項備考等
09:30-11:00 演習	1. 認定介護福祉士のイメージを作る(認定介護福祉士の社会的使命と介護福祉の専門性)	○事前課題から受講者に認定介護福祉士のイメージを共有する。その上で、認定介護福祉士として学ばなければならない内容を各自で理解する。認定介護福祉士研修全体の理解 1-1)認定介護福祉士研修全体の理解	事前配付資料、事前課題 1より認定介護福祉士のイメージを受講生で共有する。
11:10-12:40 講義	2. 認定介護福祉士の社会的使命と専門性	○認定介護福祉士のイメージが共有できたら、何故、認定介護福祉士が必要なかを理解する。 1-2)介護をめぐる社会的動向(地域包括ケアシステムと医療・介護連携等)と介護福祉士の役割の変化 認定介護福祉士創設の経緯について、関係する制度や検討会報告書等を用いて学ぶ。 1-2)認定介護福祉士が担うべき役割を学び、その役割を担うために必要となる実践力(尊厳を支えるケア、自立支援の視点に基づく介護、介護の専門性等)について学ぶ。	PP資料(本名作成)
12:40-13:40 (昼食休憩)			
13:40-15:20 演習	3. 認定介護福祉士として自職場で何が出来るのかを検証(自職場課題と認定介護福祉士の役割)	○介護現場における様々な問題とその要因 2-1)、2-2)事前課題2をグループ内で共有する。 2-1)グループ内で作成した事前課題を発表、各発表から介護福祉チームの運営に関わる課題と要因を抽出する(KJ方で実施)	事前課題 2より認定介護福祉士の自職場での役割を理解する。
15:20-16:50 演習	4. 介護現場における介護福祉職チームの運営に関わる様々な問題とその要因	○課題を解決するための認定介護福祉士としての実践力を考察する 2-2)課題が解決できた事例を通して、介護職チームの運営に何が必要なかを理解する。	

～認定介護福祉士概論～

時間	テーマ（展開）・大項目	講義・解説のポイント（中項目）、演習等の展開内容（含むべき内容）	使用教材、指導上の留意事項備考等
09:30-11:00 講義・演習	1.チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ	3-1)、2)、5)チームアプローチの手法、チーム内における価値観や専門的知識の共有手法を学ぶ。 3-3)、4)チームリーダーとして、介護職チームの運営、職種間連携の考え方を学ぶ。	講義資料は本名作成
11:10-12:40 講義・演習	2.チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ	3-4)、5)チーム内・職種間の調整能力、コンフリクトの解決方法等について学ぶ。 3-1)、2)、3)、4)、5)講師の提示した介護職チーム事例を基に、チーム内のリーダーとしての態度、他職種との連携の在り方や、認定介護福祉士に必要なコミュニケーション能力について議論し、全員で共有する。 3-4)、5)チーム内・職種間の調整能力、コンフリクトの解決方法等について学ぶ。	
12:40-13:40 (昼食休憩)			
13:40-15:50 講義・演習	3.チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ	3-1)、2)、3)、4)、5)講師の提示した介護職チーム事例を基に、チーム内のリーダーとしての態度、他職種との連携の在り方や、認定介護福祉士に必要なコミュニケーション能力について議論し、全員で共有する。	
16:10-16:50 修了試験	<修了試験の実施>	○試験内容 講義と演習内容を踏まえ、認定介護福祉士として自職場において介護職チームが抱える課題ごどのように取り組むかを1200字程度でまとめ、それを採点する。	